

自己紹介中②

「最近は何をやっているんですか？」と聞かれたら、「最近では展示会の締め切り前で、毎日数名の人に手伝いをお願いして、石を造っています。」というような説明になってしまいます。これは、本当のことなのですが、本当のことをそのままお伝えすると、完全に意味不明な人だと思われるでしょう。芸術というのは、なかなか上手く伝わらないものですね。そう考えると、いったい何をやっているんだろうなあ。と、自分でもよく思います。たくさん造っている石は、フランスで行われる国際美術展に出品するものです。と言っても伝わらないかもしれません。オリンピックや世界大会みたいなものです。と言うと伝わるかもしれませんが、少し大げさな気がします。でも、本当に、僕にとっては大げさ過ぎる舞台へ臨むところなのです。



8月の美術教室開講日のお知らせ

8/9(土) 10:00 ~ 11:30
8/23(日) 10:00 ~ 11:30
8/29(土) 10:00 ~ 11:30

(※1週間前までにご予約頂き、ご予約時に、希望があれば何をしたいか、必要な材料などの相談をします。)

1時間半 1750円から

料金のご案内 (まとめて購入頂くとお安くなります)

1回券 2000円
4回券 7800円 (1回 1950円)
16回券 28000円 (1回 1750円)

できることたくさん! 以下制作例です。

油彩画、水彩画、デッサン、版画、粘土造形、スチロール造形、プラスチック製品制作、シリコンによる雌型製作・大量生産、てん刻消しゴム判子、ライフマスク制作、図画工作、シルクスクリーン印刷(ユニフォームの制作等)、木工(机、椅子など)、七輪陶芸、オカリナ制作、名詞制作、ホームページ制作、チラシ制作、ビデオ撮影・編集・書き出し、美術史、他多数。

(お問い合わせ 090-1330-1272 テラエ)

随筆

本当の常識

芸術家ってどんな人だと思うか聞いてみると、たいいてい「変な

人。」と答える人が多い。それで、変な人ってどんな人なのか聞いてみると「常識がない人。」という答えが返ってくる。じゃあ常識って何なんだろうか。と聞くと「当たり前のこと。」と言う。当たり前ってどんなこと?と聞くと。「当たり前は当たり前だ。」となる。これは、そんなに大きな間違いではないかもしれない。でも1つ訂正しなくてはならない。常識がないというのは、非常識という意味になるかと思うが、そうではなく、常識を疑う人が芸術家なのである。非常識と常識を疑うとは違うことなのだ。しかし、これは芸術に関わる人に限らず非常に重要な技術であることは言うまでもない。現在の悲惨な世界の姿を見れば、当たり前がつくり上げている物事が、必ずしも正しいことではないことは明らかである。常識が暴力を生んできた歴史もあるのだから。

(文・美術作家 寺江圭一郎)